

1 家畜代謝試験及び家畜残留試験の提出が必要となる要件

飼料作物及び飼料の用に供される副産物（以下「飼料作物等」という。）への残留濃度と農薬の有効成分の物理化学的性質を考慮し、畜産物に残留する可能性の高いものとして、以下のいずれかの基準に該当する有効成分を家畜代謝及び家畜残留試験が必要な有効成分とする。

- (1) 予想飼料最大負荷量が 1 ppm以上
- (2) 予想飼料最大負荷量が0.05 ppm以上 1 ppm未満でn-オクタノール/水分配係数が 0 以上
- (3) 予想飼料最大負荷量が0.05 ppm未満でn-オクタノール/水分配係数が 4 以上

2 予想飼料最大負荷量の算出方法

1 で定める基準における予想飼料最大負荷量は次の方法で算出する。

- (1) 作物残留試験で得られた各飼料作物等の残留濃度と別表 1 の給餌量表の最大給与割合を乗じた値の高いものから順に、最大給与割合の合計が100%になるまで積み上げる。
- (2) ただし、家畜の栄養バランスに配慮した給与実態を踏まえ、別表 1 の給餌量表中に示すCodexの各作物グループごとに 1 種類の飼料を選択することとする。すなわち、同一の作物グループから 2 種類以上の飼料を選択することはできず、給与割合が100%になるまで、別の作物グループから飼料を選択する。なお、給与割合が100%を超えた場合、100%となるよう最後に加えた飼料の給与割合を減じて調整する。
- (3) 算出に用いる残留濃度は原則として残留基準値を用いる。なお、食品にも供される農作物の場合は食品の残留基準値及び飼料にのみ供される農作物にあっては飼料の残留基準値（指導基準を含む。以下同じ。）を用いることとし、残留基準値が設定されていない場合は想定される残留基準値案を用いる。
- (4) 残留濃度が定量限界（0.01～0.05 ppmを目途。以下同じ。）未満の場合は「0」を用いる。また、登録のあるすべての飼料作物等の残留濃度が定量限界未満の場合は家畜代謝試験及び家畜残留試験を不要とする。
- (5) 加工品が飼料として利用される作物の場合、別表 2 に示す加工係数を用いる。なお、別途加工試験を実施した場合、当該試験結果から得られた加

工係数を用いることができる。

- (6) 作物残留試験の例数が4例以上ある場合で、当該試験成績をすべて提出する場合は、最大残留値（HR）を用いることを可能とする。ただし、作物残留試験成績を追加で提出する場合は、食品及び飼料の残留基準値の妥当性について再評価を行うこととし、必要に応じて食品又は飼料の残留基準値を変更する。
- (7) 各飼料作物等中の残留濃度は乾重量ベースに換算する。
- (8) 登録のある飼料作物等の総給与割合が100%未満の場合は、登録のない他の飼料作物等を給与したと仮定する。
- (9) 国内生産した農作物（副産物を含む。（9）において同じ。）が飼料の用に供されない場合（例えば適用農作物が「とうもろこし」の場合）、家畜代謝試験等が必要かどうかを判断する際の予想飼料最大負荷量の計算からは除外して差し支えない。ただし、家畜代謝試験及び家畜残留試験の投与量及び畜産物の残留基準値設定の検討にあたっては国内で生産した農作物が飼料の用に供されない場合であっても当該農作物を考慮することが望ましい。また、この場合に国内で登録がない飼料作物等に残留基準値が設定されている場合は、当該基準値も考慮することが望ましい。

別表1 給餌量表（Codex作物グループを含む。）

別表2 加工係数

別表1 給餌量表

肉牛

Codex commodity group	飼料原料名	最大給与割合 (%)	DM (%)	省令値で計算する場合のDM (%)
AB	なたね油かす	15	88	
	やし粕(コブラフレーク)	5	91	
	大豆油かす	65	92	
	大豆皮(ソイハルペレット)	5	90	
	とうふかす	40	92	
	ビートパルプ(てんさい)	5	88	
AL	アルファルファ(乾牧草、ハイキューブ)	10	89	87
	その他まめ科(乾牧草)	5	84	87
AS	稲わら	55	90	87
	稲発酵粗飼料(サイレージ)	5	40	87
	イタリアンライグラス(乾牧草)	30	86	87
	その他のいね科(生牧草)	5	25	87
	その他のいね科(乾牧草)	40	88	87
	その他のいね科(サイレージ)	5	40	87
CF	ビールかす(大麦)	45	92	
	大麦混合ぬか	10	90	
	コーングルテンフィード	25	85	
	コーンジャムミール	5	85	
	とうもろこしジスチラーズグレインソリュブル	10	92	
	ふすま(小麦)	55	88	
	米ぬか	20	90	
GC	大麦	70	88	
	小麦	25	89	
	らい麦	35	88	
	とうもろこし	75	88	
	飼料米(粳米)	30	86	
	ホミニーフード(トウモロコシ)	35	88	
	マイロ	35	86	
VD	大豆(全脂大豆)	15	89	

* AL、ASグループについて、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令(昭和51年農林省令第35号)に規定された基準値(省令値)を用いる場合は、乾牧草のDM値87を用いる。

乳牛

Codex commodity group	飼料原料名	最大給与割合 (%)	DM (%)	省令値で計算する場合のDM (%)
AB	なたね油かす	25	88	
	やし粕(コプラフレーク)	5	91	
	大豆油かす	60	92	
	とうふかす	20	92	
	ビートパルプ(てんさい)	40	88	
AF	イタリアンライグラス(生牧草)	10	17	87
	えん麦(生牧草)	5	30	87
	ソルゴー(生牧草)	40	35	87
	デントコーン(生牧草)	20	40	87
	その他のいね科(生牧草)	10	25	87
AL	アルファルファ(乾牧草、ヘイキューブ)	25	89	87
	アルファルファ(サイレージ)	20	40	87
	その他まめ科(乾牧草)	25	84	87
	その他まめ科(サイレージ)	60	23	87
AS	稲わら	25	90	87
	稲発酵粗飼料(サイレージ)	52	40	87
	イタリアンライグラス(乾牧草)	30	86	87
	イタリアンライグラス(サイレージ)	35	29	87
	えん麦(乾牧草)	5	90	87
	えん麦(サイレージ)	5	35	87
	オーチャードグラス(乾牧草)	5	84	87
	オーチャードグラス(サイレージ)	20	27	87
	ソルゴー(乾牧草)	5	88	87
	ソルゴー(サイレージ)	10	21	87
	チモシー(乾牧草)	70	85	87
	チモシー(サイレージ)	35	40	87
	デントコーン(サイレージ)	50	40	87
	らい麦(乾牧草)	5	90	87
	らい麦(サイレージ)	5	28	87
	その他のいね科(乾牧草)	60	88	87
その他のいね科(サイレージ)	80	40	87	
CF	ビールかす(大麦)	40	92	
	コーングルテンフィード	25	85	
	コーングルテンミール	15	85	
	とうもろこしジスチラーゼグレインソリュブル	15	92	
	ふすま(小麦)	45	88	
	米ぬか	10	90	
GC	大麦	40	88	
	小麦	10	89	
	えん麦	5	89	
	らい麦	15	88	
	とうもろこし	80	88	
	飼料米(粳米)	20	86	
	マイロ	30	86	
VD	大豆(全脂大豆)	10	89	

* AL、ASグループについて、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令(昭和51年農林省令第35号)に規定された基準値(省令値)を用いる場合は、乾牧草のDM値87を用いる。

豚

Codex commodity group	飼料原料名	最大給与割合 (%)	DM (%)	省令値で計算する場合のDM (%)
AB	大豆油かす	70	92	
	なたね油かす	20	88	
	やし粕(コプラフレーク)	15	91	
AL	アルファルファミール	5	89	87
CF	コーングルテンフィード	10	85	
	コーングルテンミール	5	85	
	ふすま(小麦)	15	88	
	米ぬか	10	90	
GC	大麦	30	88	
	小麦	35	89	
	らい麦	35	88	
	とうもろこし	85	88	
	飼料米(粳米)	45	86	
	マイロ	55	86	

* ALグループについて、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令(昭和51年農林省令第35号)に規定された基準値(省令値)を用いる場合は、乾牧草のDM値87を用いる。

豚

Codex commodity group	飼料原料名	最大給与割合 (%)	DM (%)	省令値で計算する場合のDM (%)
AB	大豆油かす	70	92	
	なたね油かす	20	88	
	やし粕(コプラフレーク)	15	91	
AL	アルファルファミール	5	89	87
CF	コーングルテンフィード	10	85	
	コーングルテンミール	5	85	
	ふすま(小麦)	15	88	
	米ぬか	10	90	
GC	大麦	30	88	
	小麦	35	89	
	らい麦	35	88	
	とうもろこし	85	88	
	飼料米(粳米)	45	86	
	マイロ	55	86	

* ALグループについて、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令(昭和51年農林省令第35号)に規定された基準値(省令値)を用いる場合は、乾牧草のDM値87を用いる。

ブロイラー

Codex commodity group	飼料原料名	最大給与割合 (%)	DM (%)	省令値で計算する場合のDM (%)
AB	大豆油かす	35	92	
	なたね油かす	5	88	
AL	アルファルファミール	5	89	87
CF	とうもろこしジスチラーズグレインソリュブル	5	92	
	ふすま	5	88	
	米ぬか	5	90	
GC	大麦	10	88	
	小麦	10	89	
	マイロ	65	86	
	とうもろこし	70	88	
	飼料米(粳米)	40	86	

* ALグループについて、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令(昭和51年農林省令第35号)に規定された基準値(省令値)を用いる場合は、乾牧草のDM値87を用いる。

採卵鶏

Codex commodity group	飼料原料名	最大給与割合 (%)	DM (%)
AB	大豆油かす	30	92
	なたね油かす	15	88
	ごま油かす	5	91
CF	大麦混合ぬか	5	90
	コーングルテンフィード	10	85
	コーングルテンミール	10	85
	とうもろこしジスチラーズグレインソリュブル	5	92
	ふすま	30	88
	米ぬか	20	90
GC	マイロ	55	86
	とうもろこし	80	88
	飼料米(粳米)	65	86

別表2 加工係数

Codex commodity group	飼料原料名	DM (%)	加工係数
AB	なたね油かす	88	2
	ごま油かす	91	2
	やし粕(コブラフレーク)	91	-
	大豆油かす	92	2
	大豆皮(ソイハルペレット)	90	10
	とうふかす	92	2
	ビートパルプ(てんさい)	88	10
CF	ビールかす(大麦)	92	1
	大麦混合ぬか	90	2
	コーングルテンフィード	85	1
	コーングルテンミール	85	1
	とうもろこしジスチラーズグレインソリュブル	92	1
	ふすま(小麦)	88	5
	米ぬか	90	10
VD	大豆(全脂大豆)	89	1